

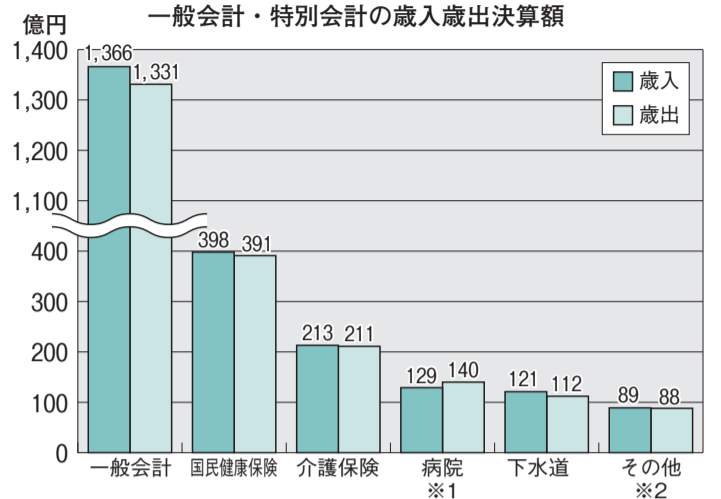
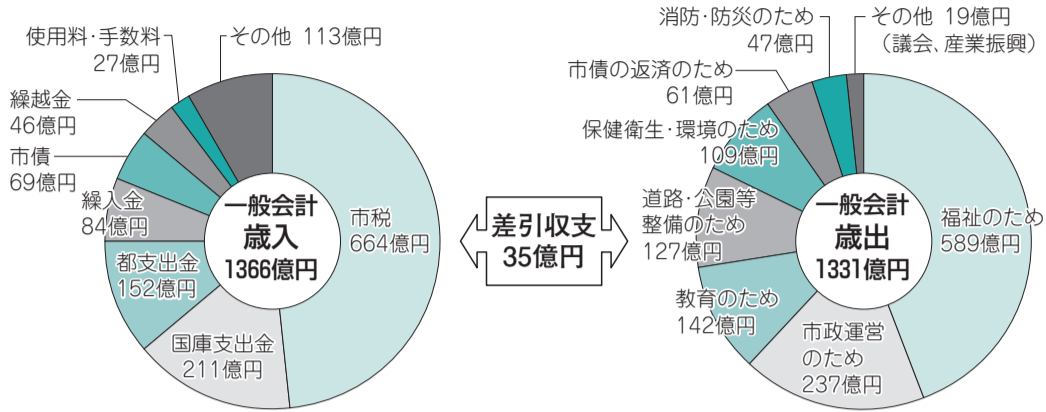
2010年度の決算状況をお知らせします

お問い合わせは、財政課 (☎724・2149 FAX724・1172) へ。

※金額は、表示単位未満を四捨五入しています。

歳入歳出決算状況

▶ 一般会計の2010年度の収支は35億円の黒字でした



歳入は、景気後退の影響で市税収入が16億円減った一方で、子ども手当制度の新設などにより、国や都からの収入が72億円増え、全体では前年度より50億円増えました。

歳出では、定額給付金の支給終了などにより、市政運営のための支出が26億円減った一方で、子ども手当の支給や生活困窮者への支援など、福祉のための支出が126億円増え、全体では前年度より61億円増えました。

※1 病院歳出決算額には現金支出を伴わない減価償却費等が含まれています。
 ※2 その他＝後期高齢者医療、受託水道、忠生土地区画整理、老人保健医療

主要な事業と決算額

▶ 市民の皆さんに納めていただいた市税は、このような事業に使われました

暮らしの安心・安全をつくる

- ＜子育て・子育て支援＞
 - 20年間期間限定認可保育所3園の整備費等を補助 1億6632万円
 - 大蔵保育園の改築(2011年4月新園舎開園) 3億486万円
 - 小・中学校9校の耐震工事を実施(2010年度で市立小・中学校の耐震化率100%を達成) 5億3210万円
 - 小山中学校の建設工事に着手(2012年4月開校予定) 6億8146万円
 - 子ども手当の支給 74億1019万円
- ＜安心して、安全に暮らせるまちづくり＞
 - 特別養護老人ホーム5施設(514床分)の整備費等を補助 6億7521万円

環境先進都市をつくる

- ＜地球温暖化対策＞
 - 市と市民による電気自動車のカーシェアリングを実施 2305万円
- ＜みどり豊かなまちづくり＞
 - 薬師池西公園・三輪緑地の用地整備 5億6258万円

夢のあるまちづくり

- ＜文化・芸術によるまちづくり＞
 - 鶴川緑の交流館の建設工事に着手(2012年度開館予定) 4億5505万円
 - 忠生市民センターの事業用地を購入 2億1421万円
- ＜スポーツによるまちづくり＞
 - スポーツを観て楽しむ環境づくり(小野路公園野球場・野津田陸上競技場・総合体育館の整備) 11億9137万円

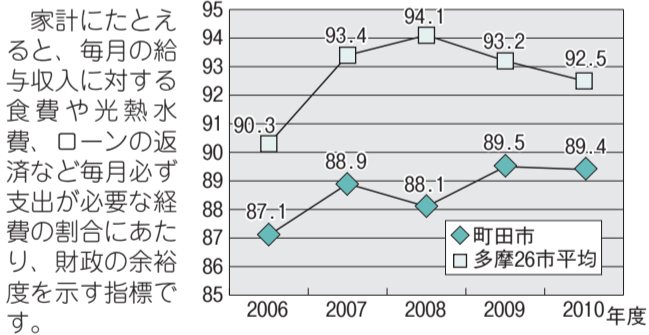
地域経済の活性化と行政経営改革

- ＜町田を元気にする地域経済の活性化＞
 - 「町田ツーリストギャラリー」の開設 2480万円
 - 新庁舎の建設工事に移転に向けた準備を実施(2012年7月開庁予定) 17億2727万円
- ＜中長期を見据えた行政経営改革＞
 - 2012年度からの新しい中長期計画の策定に着手 3975万円

主な財政指標

▶ 町田市の財政状況を表す数値を見てみましょう

経常収支比率



健全化判断比率

一般会計だけでなく特別会計を含めた赤字額、公社・第三セクター等を含めた借入金返済の単年度負担や将来負担の大きさを数値化したものです。

※「-」は、赤字や将来財政を圧迫する将来負担がないことを表しています。
 ※実質公債費比率は、値が低いほど公債費(地方債の元利償還金)に対して財政的な余力があることを表しています。
 ※「早期健全化基準」は財政破たん「イエローカード」、「財政再生基準」は「レッドカード」にあたる数値です。

資金不足比率

市が経営する公営企業の資金不足の大きさを数値化したものです。

※「-」は、資金不足がないことを表しています。
 ※「経営健全化基準」は経営破たん「イエローカード」にあたる数値です。

	2010年度	2009年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-%	-%	11.25%	20.00%
連結実質赤字比率	-%	-%	16.25%	35.00%
実質公債費比率	-0.1%	1.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	-%	-%	350.0%	

	2010年度	2009年度	経営健全化基準
病院事業会計	-%	-%	
下水道事業会計	-%	-%	20%
忠生土地区画整理事業会計	-%	-%	

連結財務諸表

▶ 町田市の決算を民間企業方式で見ると、どうなっているでしょうか

市では1年間にどれくらいの収入があり、何にいくら使ったかという「こづかい帳方式」で経理を行っています。この方式は、現在どれだけの資産や借金があるのか、行政サービスを提供するのにどれくらいのコストがかかっているのかがわかりにくいのが難点です。そこで、「民間企業方式」の決算報告書を一般会計とすべての特別会計、町田市が加入している一部事務組合や関連する団体を合算した「連結財務諸表」として作成しました。

貸借対照表 一住民サービスを提供するためにどれだけの財産を持ち、その資産形成はどのような資金でまかなったかー
 (2011年3月31日時点)

【資産の部】		【負債の部】	
I 流動資産	243億円	I 流動負債	119億円
うち現金預金	97億円	II 固定負債	1442億円
II 固定資産	7239億円	うち地方債・長期借入金	1230億円
1.事業用資産	4484億円	うち退職手当引当金	211億円
2.インフラ資産	2559億円	負債の部合計	1561億円
3.投資その他の資産	196億円	【純資産の部】	
うち基金積立金	190億円	純資産	5925億円
III 繰延収益	4億円	純資産の部合計	5925億円
資産の部合計	7486億円	負債・純資産の部合計	7486億円

行政コスト計算書 一1年間の行政サービスに要した費用とその財源としての収入はどれくらいかー
 (2010年4月1日～2011年3月31日)

【通常収支の部】	
I 行政収支の部	
1.行政収入(市税など)	2150億円
2.行政費用(扶助費、物件費など)	2190億円
行政収支差額	△40億円
II 金融収支の部	
1.金融収入(受取利息、配当金)	1億円
2.金融費用(公債費(利子))	28億円
金融収支差額	△27億円
通常収支差額	△67億円
【特別収支の部】	
1.特別収入(固定資産売却益など)	2億円
2.特別費用(不納欠損額など)	6億円
特別収支差額	△4億円
当期収支差額	△71億円

※行政コスト計算書の費用には、現金支出を伴わない減価償却費等が含まれています。

キャッシュ・フロー計算書 一市のどのような活動で資金(現金)が使われ、増減したかー
 (2010年4月1日～2011年3月31日)

I 行政サービス活動	
収入(市税など)	2143億円
支出(扶助費、人件費など)	2061億円
行政サービス活動収支差額	82億円
II 社会資本整備等投資活動	
収入(国庫・都支出金など)	169億円
支出(投資的経費など)	261億円
社会資本整備等投資活動収支差額	△92億円
III 財務活動	
収入(市債)	118億円
支出(公債費(元金))	115億円
財務活動収支差額	3億円
収支差額合計	△7億円
前年度からの繰越金	104億円
形式収支	97億円

純資産変動計算書 一貸借対照表上の純資産が1年間にどのような要因で増減したかー
 (2010年4月1日～2011年3月31日)

前期末残高(2010年3月31日時点)	5971億円
当期変動額	△46億円
固定資産等の増減	52億円
その他内部取引による増減	△30億円
当期収支差額	△71億円
その他の増減	3億円
当期末残高(2011年3月31日時点)	5925億円

本紙2010年12月11日号でお知らせした2009年度の連結財務諸表とは、様式を変更しています。詳細は、冊子「町田市の財政」をご覧ください。

2010年度の決算状況や財務諸表の詳細な内容は、冊子「町田市の財政」でお知らせしています。町田市ホームページや市政情報やまびこ、市内各図書館で12月15日からご覧いただけます。